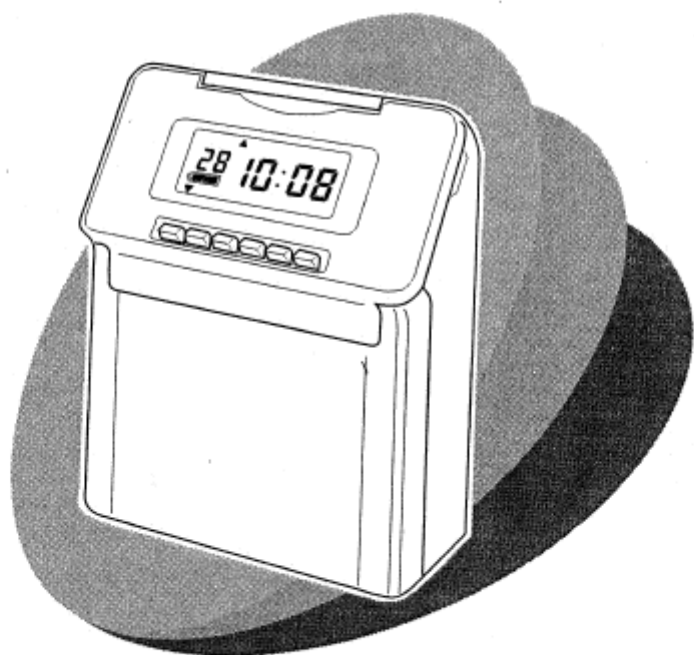


クォーツ・タイムレコーダ

QR-100

シリーズ

取扱説明書



SEIKO

目次

1. 特長	1
2. ご使用になる前に	2
付属品の確認	2
使用上のご注意	2
保証について	2
設置について	3
壁掛けの方法	3
カードラックの取り付け	4
電源について	4
各部の名称	5
3. 日常の操作	7
4. 設定のしかた	8
設定について	8
リセットについて	9
締日の設定	9
時刻の設定	10
日付の設定	11
改行時刻の設定	12
プログラムの設定	13
外部時報の秒数設定	16
5. 外部時報のつなぎ方	17
6. 電池の入れ方	18
7. こんなときには	19
エラー番号が表示されたら	19
リボンの交換方法	20
故障かなと思ったら	21
8. 仕様一覧	22
9. 別売付属品	23

はじめに

このたびは、SEIKOクオーツタイムレコーダQR-100シリーズをお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。QR-100シリーズは、コンパクトで場所をとらず、簡単に操作できるため、少人数のオフィスや店舗でご利用いただくのに最適なタイムレコーダです。ご使用前に本書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

1. 特長

- 時刻や締日などタイムレコーダが動作するために必要な事柄は、あらかじめ設定してありますので、電源を入れてすぐにお使いいただけます。
- コンパクトで、壁掛けもできる省スペース設計です。
- 収納式のタイムカードラックでカードをすっきりと整理できます。
- 乾電池（アルカリ乾電池）でも動作しますので、電源の心配がなく、置き場所を選びません。
- 日常の操作や、設定操作も簡単で安心してお使いいただけます。

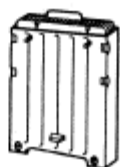
<QR-100シリーズの機能一覧>

	QR-100	QR-120
収納式カードラック	○	○
カードの自動引き込み	○	○
カードの表裏判別	○	○
2色印字	×（黒1色）	○（黒赤2色）
外部時報接続	×	○
電源	・ AC電源 ・ アルカリ乾電池 ・ 専用ニッケル電池(別売)	・ AC電源 ・ アルカリ乾電池 ・ 専用ニッケル電池(別売)

2. ご使用になる前に

付属品の確認

QR-100シリーズの箱を開けたら、タイムレコーダ本体のほかに以下の付属品が入っていることを確認してください。



カードラック



タイムカード (20枚)



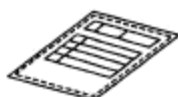
壁かけ取り付けネジ



ラック収納止め



取扱説明書 (本書)



保証書



シール (3枚)

使用上のご注意

保証について

1年間の無償保証がついています。保証書は大切に保管してください。

設置について

次のような場所でのご使用は避けてください。

- 湿気やほこりの多い場所
- 直射日光のあたる場所
- 振動の激しい場所または常時振動が発生する場所
- 気温が-5℃以下や、45℃以上の場所
- 化学薬品やオゾンなどの影響をうける場所

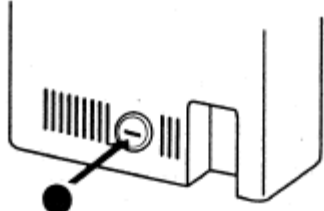
台の上のせて使用する場合は、高さ70～80cm程度の台をご使用ください
(SEIKO専用レコーダスタンドを用意していますので、ご利用ください。)

壁かけの方法

付属のネジを使って、タイムレコーダを壁にかけることができます。
壁にかけて使用する場合には、次のようにしてください。

! カードラックを取り付けた状態で壁にかけるとはできません。

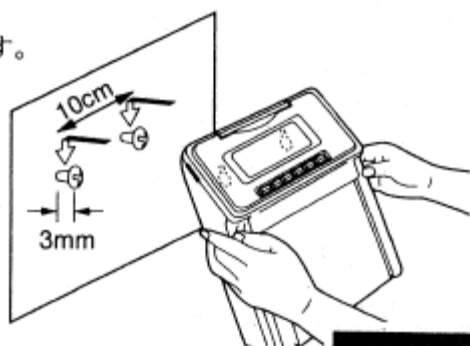
- 1** タイムレコーダの背面の中央下の穴を付属のシールでふさぎます。



- 2** 付属の壁掛け取り付けネジ2本を、横10cmの間隔で壁に取り付けます。このときネジの頭を3mmほど出し、取り付けてください。

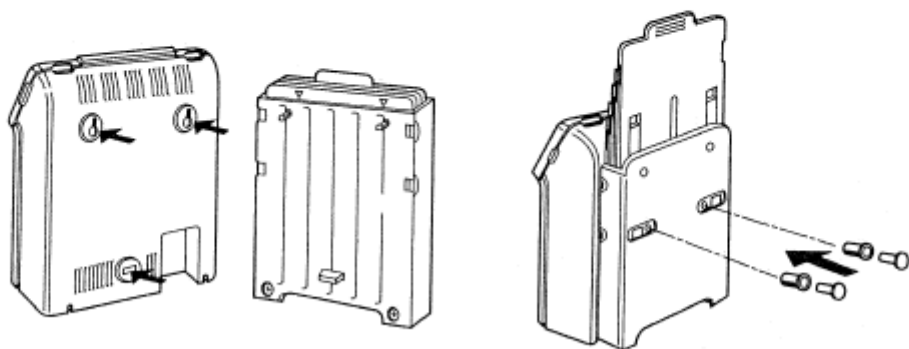
- 3** ネジにタイムレコーダの上の穴を引っかけます。

*壁掛け金具に同梱されているネジは木造の厚い壁や木の柱でご使用されることを前提としており、それ以外の条件の場所ではご使用にならないようにして下さい。タイムレコーダが落下してしまう等の原因となります。



カードラックの取り付け

- 1 カードラックの上のツメ（2ヶ所）をタイムレコーダ背面にあるカードラック取り付け部に引っかけます。
- 2 カードラックを軽く上方に押しながら下のツメを差し込みます。



- カードラックを収納しないで使用する場合
ラック収納止めを穴に入れてください。
ラック収納止めを入れると、カードラックを固定できます。

電源について

AC電源

電源はAC電源と電池のどちらでも使えます。

100V（±10%）、周波数50Hzまたは60Hzでお使いください。

電源コードのプラグはコンセントに確実に差し込んでください。

停電のときでも、内部時計の時刻や締め日などの設定は消えません。



電池

単3のアルカリ電池6本を、電池ホルダーに入れてください。

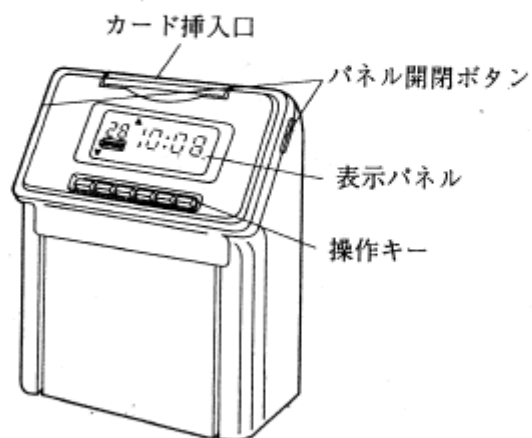
古い乾電池や、種類の違う乾電池を一緒に使用することは危険ですのでおやめください。マンガン電池はご使用になれません。

また充電式のニッケド電池（別売）も用意してあります。

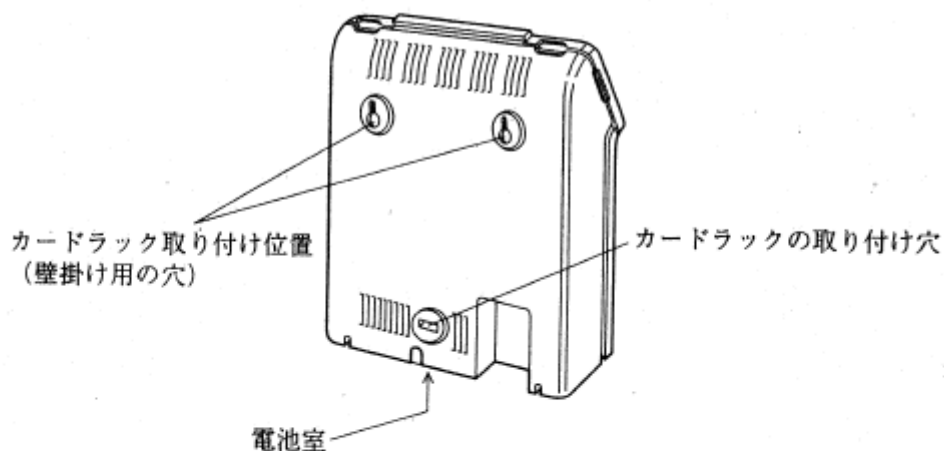


各部の名称

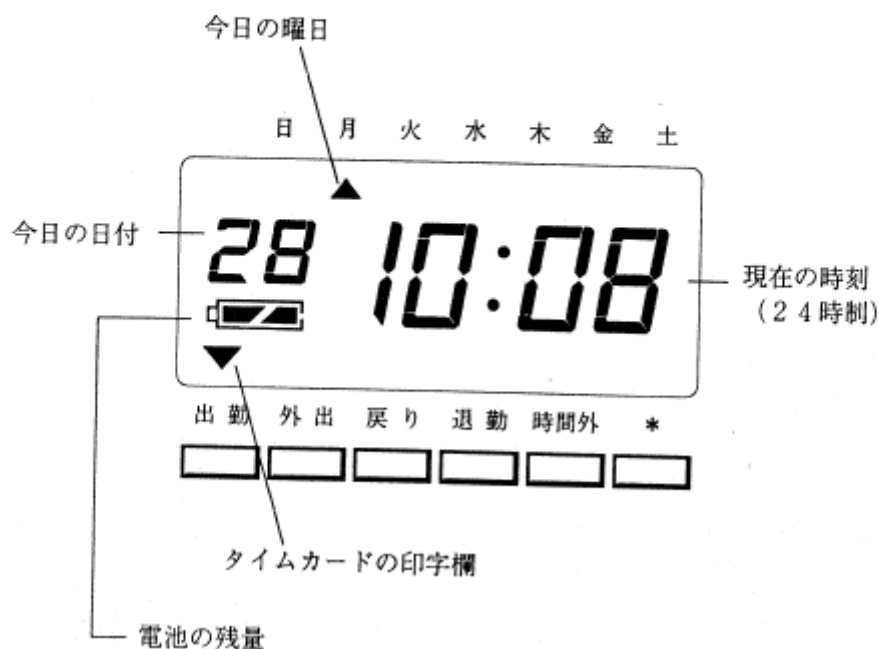
本体正面



本体背面



表示パネル



電池の残量は十分にあります。



電池の残りが少なくなってきました。早めに新しい電池に交換してください。



電池の残りが少なく、打刻できません。すぐに電池を交換してください。



AC電源を入れているときには、電池の残量は表示されません。

AC電源を切った後、電池がなくても数分間、電池の残量表示がでることがありますが、タイムレコーダの故障ではありません。

3. 日常の操作

QR-100シリーズの使い方はきわめて簡単です。

- 1 印字したい欄（出勤・外出・戻り・退勤・時間外・*）に合った所に▼マークが表示されていますか？ 合っていないときには、その下のキーを押して▼マークを移動してください。



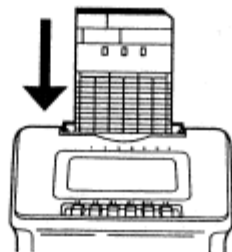
- 2 カード挿入口のフタを開けます。



- 3 カードラックが収納されている場合は、引き上げてからタイムカードを取り出します。



- 4 タイムカードを挿入します。タイムカードは自動引込され、印字後、排出されます。（カード挿入口にクリップ等の金属を入れないで下さい。）



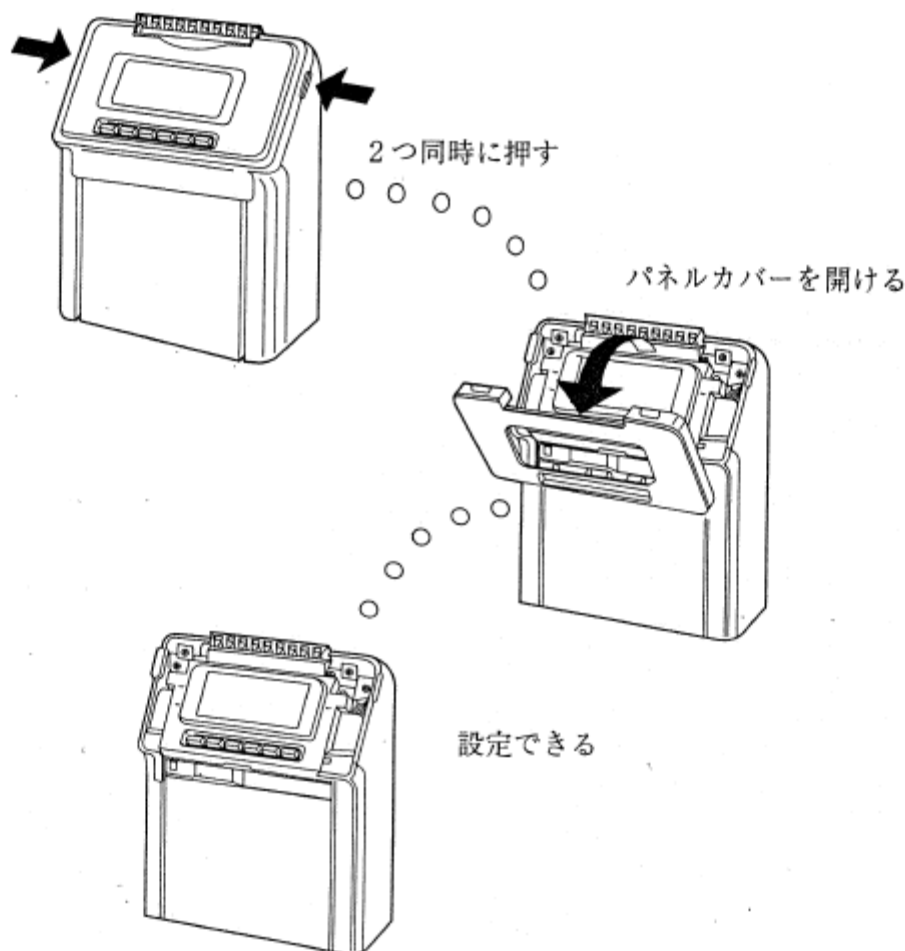
- 5 タイムカード挿入口のフタをしめます。

4. 設定のしかた

設定について

日付や時刻はもちろん、締日やカードの改行時刻など必要な事柄は、あらかじめ設定してあります。そのままの状態ですぐにお使いいただけますが、締日などが実際にご使用いただく場合と異なるときには、手順に従って設定してください。

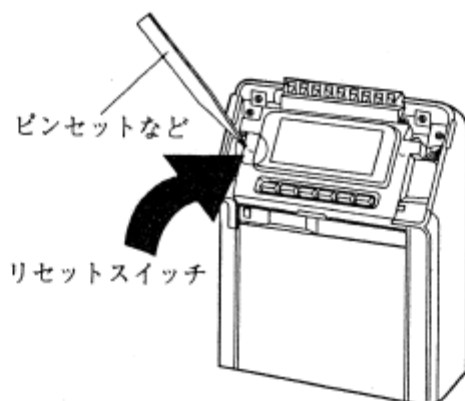
設定するときには、パネル開閉ボタンを2つ同時に押してパネルカバーを外してください。パネル開閉ボタンは、パネルの両側にあります。



! パネルカバーを開けることにより、自動的に設定モードとなります。

リセットについて

設定をしないときや、初期の設定に戻したいときには、先のとがったものでリセットスイッチを押してください。

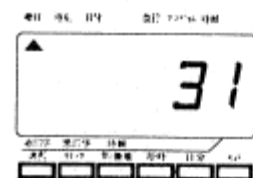


❗ リセットすることにより、あとから設定した内容は消えてしまいますので注意してください。

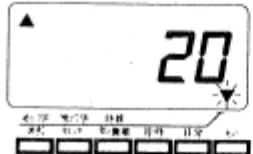
締日の設定

出荷時の設定：31日 設定する締日： 日

給与計算の締日が31日（月末）以外の場合は、締日を変更します。設定を変更すると、タイムカードを無駄なく使えます。



1 選択 を押して、「締日」に ▲ マークを合わせます。

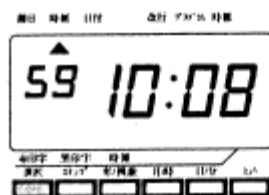


2 日/分 を押して、目的の締日にします。

3 表示が希望どおりの締日であることを確認してから、セット を押します。

時刻の設定

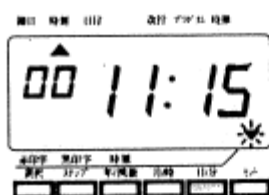
時刻を変更する場合には以下のように操作してください。



1 **選択** を押して、「時刻」に ▲ マークを合わせます。



2 時を変更するときは **月/時** を押して、目的の時にします。



3 分を変更するときは **日/分** を押して、目的の分にします。

4 表示が希望どおりの時刻であることを確認してから、**セット** を押します。

このとき秒は00から動き始めますので、時報に合わせてセットを押すと正確に時刻を設定できます。

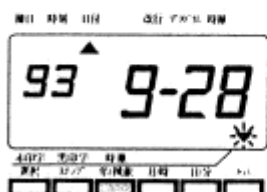
! 秒のみを微調整するには、「時刻」に ▲ マークを合わせてから、**セット** のみを押すと0秒に調整できます。

日付の設定

日付を変更する場合には以下のように操作してください。



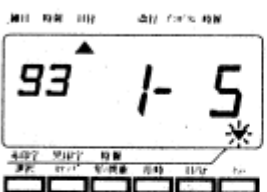
1 選択 を押して、「日付」に ▲ マークを合わせます。



2 年を変更するときには 年/機能 を押して、目的の年にします。



3 月を変更するときには 月/時 を押して、目的の月にします。



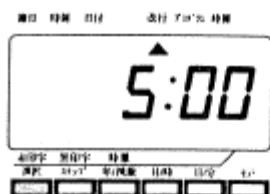
4 日を変更するときには 日/分 を押して、目的の日にします。

5 表示が希望どおりの日付であることを確認してから、セット を押します。

改行時刻の設定

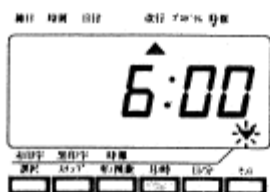
出荷時の設定：5:00 (午前5時) 設定する改行時刻数： :00

改行時刻とは、タイムカードの印字行が切り替わる時刻のことです。深夜勤務などで退勤が深夜0時を過ぎても、改行時刻の前であれば、前日の行に印字されます。



1 選択を押して、「改行」に ▲ マークを合わせます。

2 月ノ時を押して、目的の改行時刻にします。(分の設定はできません。)



3 表示が希望通りの改行時刻であることを確認してから、セットを押します。

❗ QR-120は、改行時刻になると自動的に黒の印字に切り替わります。

プログラムの設定 (QR-120のみ)

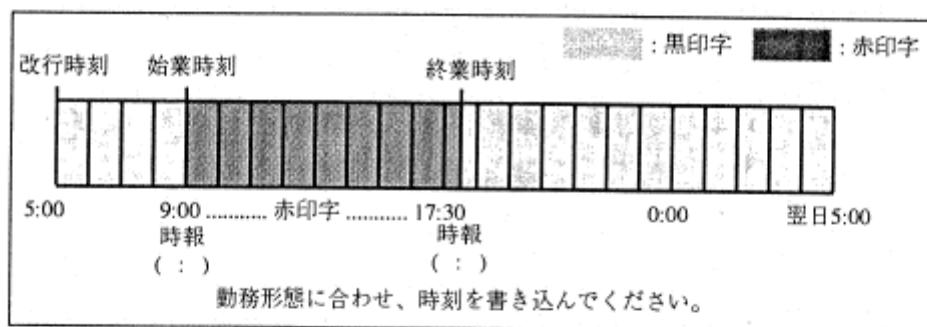
あらかじめ設定されているプログラムはありません。

勤務時間内か時間外かで印字の色（赤・黒）を切り替えたり、始業・終業時刻に外部時報を鳴らすように設定できます。

ここでは、以下のような勤務形態を想定した設定を行ってみます。

- ・勤務時間内（遅刻、早退）は赤印字
- ・勤務時間外（通常の出退勤および早出、残業）は黒印字
- ・始業時刻と終業時刻に外部時報を鳴らす。

勤務形態を図にします。



上の勤務形態をもとにプログラムの表を作ると、次のようになります。

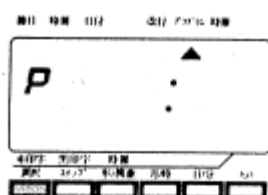
	時刻	赤印字	黒印字	外部時報
P1	9:00	○		○
P2	17:30		○	○

例に従って下の表を作成してみましょう。プログラムは、最大8個まで設定できます。

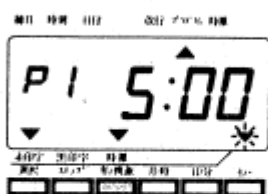
	時刻	赤印字	黒印字	外部時報
P1	:			
P2	:			
P3	:			
P4	:			
P5	:			
P6	:			
P7	:			
P8	:			

- 1 勤務形態の図に習って、図の下に時刻を入れてください。
- 2 その時刻を上表に書き出してください。
- 3 その時に処理する所に○をつけてください。
改行時刻については、P.12の「改行時刻の設定」をご覧ください。

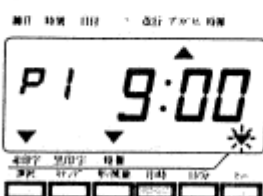
それでは、例に従って設定の手順を説明します。



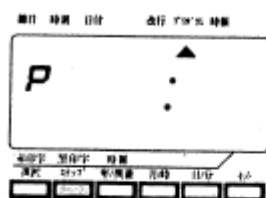
- 1 選択 を押して、「プログラム」に ▲ マークを合わせます。



- 2 年/機能 を押して、「時報」と「赤印字」の位置に ▼ マークを合わせます。このとき、1つ目のプログラムであることを示す"P1"と、改行時刻が表示されます。



- 3 月/時 を押して「9:00」にします。
- 4 表示が希望どおりの設定であることを確認してから、セットを押します。これで、始業時刻(9:00)に外部時報を鳴らし、赤印字に切り替える設定ができました。



5 **ステップ** を押して、2つ目のプログラム設定に移ります。

6 **年/機能** を押して「時報」と「黒印字」の位置に ▼ マークを表示します。

7 **月/時** を押して「17:00」にします。

8 **日/分** を押して「17:30」にします。

9 表示が希望どおりの設定であることを確認してから、**セット** を押します。これで、終業時刻に (17:30) に外部時報を鳴らし、黒印字に切り替える設定ができました。

! 設定したプログラムは、パネルカバーを閉じると改行時刻から順に並び換えられます。

プログラムを消すには

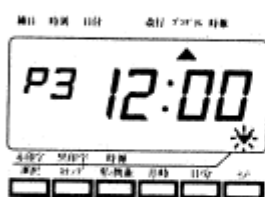
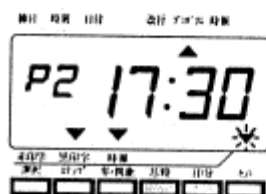
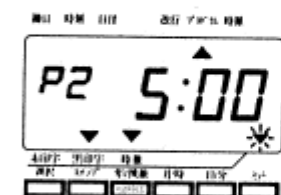
1 **選択** を押して、「プログラム」に ▲ マークを合わせます。

2 消したいプログラムが表示されるまで **ステップ** を押します。

3 **年/機能** を押して、「赤印字」「黒印字」「時報」のいずれにも ▼ マークが表示されていない状態にします。

4 **セット** を押します。

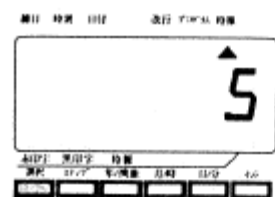
5 消したいプログラムが2つ以上あるときは、手順 2～4 を繰り返してください。



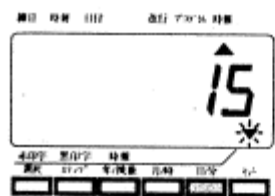
外部時報の秒数設定 (QR-120のみ)

出荷時の設定：5秒間 設定する秒数： 秒間

QR-120に別売のメロディユニットを取り付けて使用する場合、時報（メロディ）が鳴り続ける秒数を設定できます。取り付け方や設定する秒数については、メロディユニットの取扱説明書をご覧ください。



1 選択 を押して、「時報」に ▲ マークをあわせませす。



2 日/分 を押して、目的の秒数を表示します。最長30秒まで設定できます。0にすると時報は鳴りません。

3 表示が希望どおりの秒数であることを確認してから、セット を押します。

5. 外部時報のつなぎ方

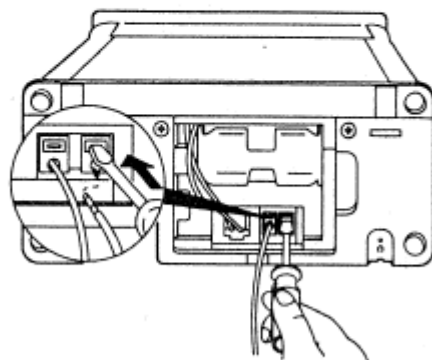
(QR-120のみ)

外部時報（メロディユニット MU-41；別売）を接続して使用する場合は、以下の手順で接続してください。

1 電源コードが接続されている場合は、抜いてください。

2 電池室のフタを外します。

3 図のように、端子台の上側をマイナスドライバーで押しながら、外部時報の電線を2本差し込みます。



4 電池室の背面側にU字型に切り込みが入っています。そこを割って、外部時報の電線を電池室の外に出してください。

5 電池室のフタを取り付けます。

外部接点・接続仕様

- ・接続出力：無電圧接点出力 1回路
- ・接点容量：DC負荷 30V 1.0A以下

* AC電源時報はご使用になれません。

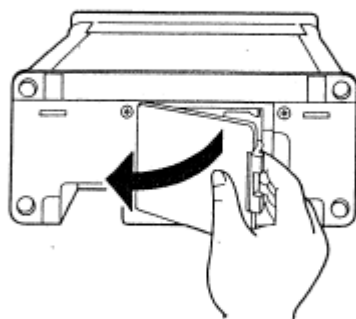
6. 電池の入れ方

新しい単3のアルカリ電池を6本ご用意ください。

アルカリ以外の乾電池を使用した場合には、性能を保証できません。

1 タイムレコーダの背面を下にして、平らなところに静かに置きます。

2 電池室のフタを外します。

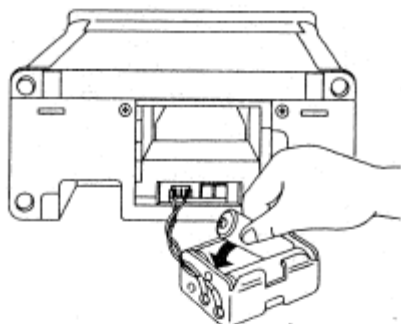


3 電池ホルダーを取り出して、古い電池を取り出します。

4 電池ホルダーに、+と-を間違えないように乾電池を6本入れます。バネのある方に-を合わせてから押し込むようにすると、うまくセットできます。

5 電池をセットしたホルダーを、もとの位置に戻します。

6 電池室のフタを取り付けます。



! 古い電池や、種類の違う電池と一緒に使用しないでください。

● 充電して何度も使える専用ニッカド電池（別売）もありますので、ご利用ください。

7. こんなときには

エラー番号が表示されたら

表示部にエラー番号が表示されたときには、以下を参照して正しい操作を行ってください。

番号	エラー内容	対策
E-03	挿入したタイムカードの裏表が間違っています。	タイムカードの裏表を反対にして挿入してください。
E-05	タイムカードを正しく引き込むことができません。	タイムカードを挿入し直してください。
E-30	印字ができません。 プリンタのモータ、またはホームポジションセンサーに異常があります。	
E-33	リボンの赤黒切り替えができません。	パネルカバーを開けて次のことを確認してください。 ・タイムカードがつまっていないかどうか。 ・リボンセットがきちんとセットされているかどうか。
E-35	タイムカードが排出できません。	確認が済みましたら、パネルカバーを閉じてください。それでもエラー番号が表示される場合は、販売店にご連絡ください。
E-37	印字ができません。 タイムカードを送るモータ、またはセンサが正しく動きません。	
E-38	印字ができません。 プリントヘッドのモータ、またはセンサが正しく動きません。	

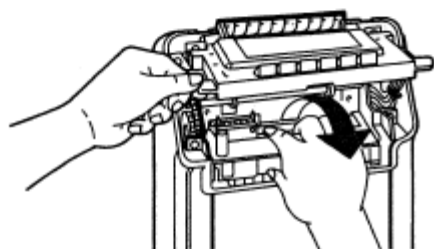
リボンの交換方法

タイムカードに印字される文字がうすくなった場合は、リボンカセットを交換してください。あらかじめ装着されているリボンカセットは工場出荷時の機能検査用（モニタ印字リボン）です。ご使用時一部うすく印字される場合がありますのでご了承ください。

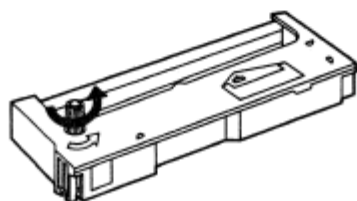
1 パネル開閉ボタンを2つ同時に押して、パネルカバーを外します。

パネル開閉ボタンは、パネルの両側にあります。

2 パネル部を持ち上げて、リボンカセットの奥を上を持ち上げるようにして取り出します。

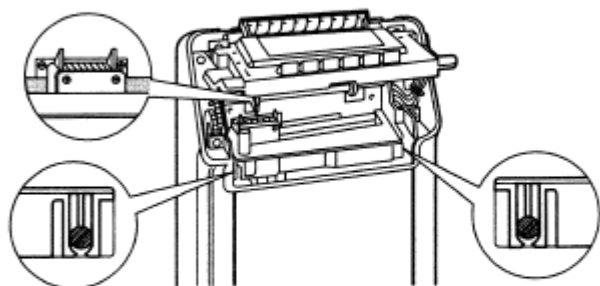


3 新しいリボンカセットのつまみを矢印方向に回して、リボンのたるみをとります。



4 リボンをプリントヘッドの先端部に引っ掛け、リボンカセットの下側のツメを図のようにタイムレコーダの突起部に入れて、パチンと音がするまで押し込みます。

リボンが入ればらいときには、つまみをまわしながら入れてください。



5 リボンカセットのつまみを矢印方向に回し、リボンのたるみをとります。

6 パネルカバーを取り付けます。

故障かなと思ったら

● 全く動作しない

電源コードはコンセントに正しく差し込んでありますか？

電池は正しくセットしてありますか？

● 印字しない

リボンが正しくセットされていますか？

● 印字位置が合わない

締め日の設定を確認してください。

タイムカードが折れたり、曲がったりしていませんか？

リセットした後、設定を再度行ってください。

(リセットの方法はP.9を参照してください。)

8. 仕様一覧

日付・時計表示/精度	デジタル6桁 月差±15秒以内 (常温)
カレンダー機能	1990~2029年 閏年、大小月、曜日は自動判定
表示方式	液晶、バックライト付き 日付、曜日、時分、印字欄、電池残容量表示
印字方式	ドットインパクト方式
カード機構	自動引き込み・排出、表裏自動判別
タイムカード	SEIKO Cカード (両面6欄)
メモリー保持機能	工場出荷時より停電累計時間3年間
電池駆動・停電打刻	アルカリ単3乾電池 (6本) : 1日20打刻で30日間 専用ニカッド電池 : 1日20打刻で10日間
プログラム (QR-120のみ)	印字色切り替え、外部時報出力の時刻指定
外部時報機能 (QR-120のみ)	メロディユニットとの接続
カードラック	5ポケット10人用、収納式
使用環境	温度: -5~45℃ 湿度: 20~80%Rh 結露なし 温度が5℃以下の場合には正常に動作しますが、印字濃度、液晶表示の反応、停電打刻数は通常使用時に比べて劣ります。
外形寸法	幅190×高さ233×奥行き94mm (カードラックを除く)
質量	約1.6kg (カードラック、電池を除く)
消費電力	16W



タイムカードは指定のCカードをご使用ください。特に、折りたたみ方式などの特殊カードを使用しますと、機能障害が生じることがあります。

9. 別売付属品および消耗品

● タイムカード

あらかじめ日付が印刷されたカードもあります。
締日に合わせてご利用ください。

締日	日付なし	20日締	25日締	31日締
カード名	C	C-20	C-25	C-31

C-31は15日締めにも、締日の設定を“31”にして
カードの裏面（赤い面）よりご利用いただけます。

● リボンカセット

QR-100用リボンカセット（黒1色）
QR-120用リボンカセット（黒赤2色）

● QR-100シリーズ用ニッカド電池

専用のニッカド電池で、タイムレコーダをACコンセントに
つなげると自動的に充電されます。電池切れの心配がなく、
不慮の停電に備えることができます。

● カードラック

CR-10 : 10人用（収納式）
CR-15 : 15人用
CR-30 : 30人用

● メロディユニット

（QR-120のみ接続可能）
MU-41 : メロディ2曲内蔵 電池式
200m²の室内でも十分な音量 音量調節付

リボン交換時のご注意

新しいリボンカセットを入れるときには、次のことに注意してください。

下図のようにリボンが、プリントヘッドとリボンマスクの間に入るようにリボンカセットを入れてください。(左側の絵)

リボンをリボンマスクの奥側に入れてしまうと、正常に印字できません。(右側の絵)

